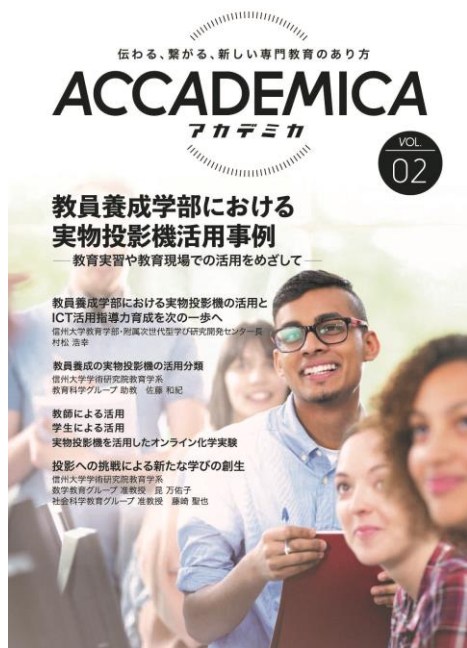


待望の続編刊行！教員養成学部での様々な授業形態における実物投影機活用事例集リリースのお知らせ

ACCADEMICA（アカデミカ） Vol.2

2022年3月31日より配布開始 無料

テクノホライズン株式会社（JASDAQ：証券コード 6629）（本社：名古屋市南区千竈通二丁目 13 番地 1 代表取締役社長：野村 拡伸）は、2021 年 10 月に Vol.1 を発行した、教員養成課程の先生や学生、教育現場の先生を対象に、教員養成学部での様々な授業形態における実物投影機活用事例集の続編となる「ACCADEMICA(アカデミカ) Vol.2」を 2022 年 3 月 31 日より無料で配布いたします。



現在、「GIGA スクール構想」により、児童生徒 1 人 1 台の端末活用が進んでおり、それに伴った教員の ICT を活用する指導力の向上を図る必要性が求められています。そのような現状を踏まえ、2022 年 4 月 1 日より施行される「教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令」で教職課程の中に新たな必修科目として「情報通信技術を活用した教育の理論と方法」を設け、1 単位以上の取得を求める内容が組み込まれています。*1

信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センターとエルモカンパニーは、教員養成課程の授業における 1 教室に 1 台の定番教育 ICT 機器である実物投影機を活用したオンライン授業、ハイブリッド授業（ハイフレックス授業）における活用法、対面授業における学生の活用をまとめた実物投影機活用事例集として、「ACCADEMICA(アカデミカ) Vol.1」を、2021 年 10 月にリリースしました。ACCADEMICA(アカデミカ) Vol.1 リリース後、教員養成学部のある学校の先生や学生のみならず、大学関係者以外の小学校の教員の方からも授業の実践内容を参考にしたい、と反響をいただいております。

今回リリースいたします「ACCADEMICA(アカデミカ) Vol.2」は、Vol.1 の続編です。

信州大学教育学部では、20年以上前からICT活用の授業を展開するとともに、BYODによる学生のノートPC準備、プログラミング教育への早期の対応、さらには附属学校における教育実習でのICT活用授業の必修化など、ICT活用指導力を高める取り組みを長年推進し、全国から注目されてきました。

実物投影機を通して全国のICT活用教育の推進に寄与してきたエルモカンパニーと、教員養成でのICT活用教育において先進的な取り組みを続けている信州大学教育学部とが連携することで、学生らのICT活用指導力をより高め、優れた次世代の教員を輩出するとともに、教員研修のみならず、教員養成段階でのICT活用指導力育成への関心も高められると考えております。

今回の事例集でも、信州大学教育学部において展開されている実物投影機を活用した代表的な実践をピックアップして紹介しています。Vol.2では、特に学ぶ側から教える側になる学生の活動に焦点を当てた内容となっており、教育実習や教育現場での活用を目指した内容となっております。実際に授業を行った学生方の工夫点や大変だったポイント、感想も記載され、次の授業のヒントにつながる内容となっております。

冊子の内容は教室環境や授業での実物投影機活用をイメージできる構成となっており、教員研修や教員養成課程をお持ちの大学でもお役に立ていただけます。

ACCADEMICA専用Webサイト(<https://hoteduup.jp/accademica/>)にて、活用事例の一部をご紹介します。多くの大学の先生方や学生の方からのお申し込みをお待ちしております。

*1 教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令の施行等について(通知)

https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/mext_00030.html

【ACCADEMICA(アカデミカ)の概要】

1)ご希望の先生方へ無償で配布

専用Webサイトからお申し込みを受け付け、無料でお届けいたします。

2)初めて実物投影機を使う先生にもわかりやすい内容

実物投影機を使ったことがない先生にもわかりやすいよう、「具体的な実物投影機の設置の方法」や「実物投影機の効果的な活用法」などを、実際の授業をイメージしながら学ぶことができる内容で構成されており、明日からの授業ですぐにお役に立ていただけます。

3)科目ごとの活用例の紹介と解説

具体的にどのような場面でどのような活用ができるのかをイメージしやすいよう、実際に活用した科目も併せてご紹介。授業の工夫点や感想はもちろん、信州大学 佐藤和紀先生からのワンポイントアドバイス解説も掲載されております。

[目次]

○巻頭言

「教員養成学部における実物投影機の活用とICT活用指導力育成を次の一歩へ」
(信州大学教育学部・附属次世代型学び研究開発センター長 村松 浩幸)

○分析

「教員養成の実物投影機の活用分類」
(信州大学学術研究院教育学系 教育科学グループ 助教 佐藤 和紀)

○教員養成学部での教師、学生による様々な授業形態における実物投影機活用事例

教師による活用

- ・対面授業での活用
- ・オンライン同期型授業・対面+オンラインのハイブリッド期型授業・対面授業での活用

学生による活用

- ・対面授業での活用

- ・オンライン同期型授業・対面＋オンライン非同期型(オンデマンド)授業での活用
 - ・対面＋オンラインのハイフレックス型授業での活用
- 実物投影機を活用したオンライン化学実験
リモート化学実験の可能性の探求 現職教員向け研修講座「家庭でできる化学実験」

○リフレクション

「投影への挑戦による新たな学びの創生」

(信州大学学術研究院教育学系

数学教育グループ 准教授 昆 万佑子

社会科学教育グループ 准教授 藤崎 聖也)

4) ACCADEMICA(アカデミカ)申込先

テクノホライゾン株式会社 エルモカンパニー ACCADEMICA(アカデミカ)専用サイト

URL: <https://hoteduup.jp/accademica/>

- *申込専用ページへアクセスし、お問い合わせの目的:『ACCADEMICA(アカデミカ)のご希望』を選択してください。
- *商業目的での本冊子ご利用のお申し込みはご遠慮いただいております。

- テクノホライゾンロゴは、テクノホライゾン株式会社の登録商標または商標です。
- その他の名称や製品名は各社の登録商標または商標です。
- 本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がある旨予めご了承ください。

【この件に関するお問合せ先】

テクノホライゾン株式会社 エルモカンパニー EEISS 事業企画部 ICT 教育推進課

電話:052-811-4465 FAX:052-811-5142 住所:愛知県名古屋市南区塩屋町 1-3-4

e-mail: ict@elmo.co.jp URL: <https://hoteduup.jp/accademica/>